

国東市公共事業評価委員会開催

国東市が実施する公共事業の事前評価、再評価等を行う第1回国東市公共事業評価委員会が、8月23日(水)午前10時からアストくにさき中会議室で行われました。

同委員会は、市が事業主体となって実施する公共事業の効率化、重点化を図り、事業の実施過程の透明性の向上を図ることを目的に設置されています。

会議では、5名の委員に照山俊一市長から委嘱書が交付され、委員長に小笠原正人委員（武蔵町古市）、副委員長に安部博俊委員（安岐町瀬戸田）を互選。平成19年度に実施予定の新規事業について評価を行いました。なお、委員は次のとおりです。



▲公共事業評価委員会のようす



▲就任にあたりあいさつする小笠原正人委員長

国東市公共事業評価委員会 委員名簿 (敬称略)

役職	氏名	住所
委員長	小笠原 正 人	武蔵町古市
副委員長	安 部 博 俊	安岐町瀬戸田
委員	芹 川 利 雄	国見町千灯
委員	金 沢 弘 一	国東町鶴川
委員	金 本 紀美子	安岐町下原

任期は平成20年8月22日まで

国東市と大分大学が相互協力協定を締結

国東市と大分大学が相互協力協定を締結しました。この協定は、両者の相互の発展をめざして、教育・文化、生活環境、医療・福祉、情報化、産業振興等の課題について協力することを目的としています。

8月30日(水)、市役所3階会議室で行われた調印式では、照山俊一市長と羽野忠学長が協定書に調印しました。

照山市長は「少子化、高齢化や基幹産業である第一次産業の振興、行財政改革と多くの課題を抱えていますが、課題解決に向けて大分大学のご指導、ご協力をお願いします。」とあいさつ。また、羽野学長が「大学のこれまでの経験等を課題解決に役立てていただきたい。」とあいさつしました。

今後は、市と大学において課題について整理し、それぞれの課題や取り組みについて協議を行うことになっています。



▲協定書に調印する照山市長(写真手前)と羽野学長



▲調印後、堅い握手を交わす照山市長と羽野学長

ソニーセミコンダクタ九州株式会社 大分テクノロジーセンター 新棟起工式

国東町小原のソニーセミコンダクタ九州株式会社大分テクノロジーセンター（大分TEC）で、8月10日(木)にデジタル機器向けの最先端半導体パッケージの製造棟の起工式が行われました。

式では、神事の後同社の大久保清社長が「先端パッケージ等の開発から製造までを一貫して担う基幹工場である大分TECにおいて、業界最先端の技術力で半導体を量産し地元経済に貢献したい。」とあいさつ。広瀬勝貞知事、照山俊一市長が「情報化、デジタル化の技術のレベルアップや雇用、所得の向上に期待するとともに、あらゆる面で支援していきたい。」と



▲地鎮の儀を行う大久保社長

あいさつしました。

今回増設される製造棟は、現在の敷地内に建設され述べ床面積が1万800平方メートルで、携帯電話やデジタルカメラ等の小型デジタル機器の心臓部に使われる半導体パッケージの生産を行います。操業開始は平成19年6月の予定です。



▲式には、同社関係者や来賓約70名が出席